

## 第42回

# 今こそ注目！印刷業界における公的支援施策活用 H28年度補正ものづくり補助金活用の 採択結果について

株式会社GIMS  
中小企業診断士 竇積 昌彦

<http://www.gims.co.jp>  
[houzumi@gims.co.jp](mailto:houzumi@gims.co.jp)

### 【はじめに】

平成28年度補正ものづくり補助金の採択結果が去る3月19日に発表されました。昨年実施の平成27年度補正1次公募と比較すると採択率が上昇しており、難易度はやや緩和されたように感じられました。

しかしこれは、全体の申請数が大幅に減少（8,464件減）したことが大きいと思います。おそらく昨年の厳しい結果を見て今回は申請を躊躇された事業者も多かったのではないかと想像されます。採択数は全体では1,572件減少しましたが、逆に印刷業関連の採択数は220件（筆者による自主調査）と昨年より増加しています（以下図参照）。

図：H28年度補正ものづくり補助金の結果比較

	H27年度補正1次 (昨年)	H28年度補正 (今回)
申請数	24,011件	15,547件
採択数	7,729件	6,157件
採択率	32.2%	39.6%
印刷業採択	206件	220件
印刷業シェア	2.7%	3.6%

今後当該補助金がどのように実施されるのかについては2次の実施を含めて現段階では不明ですが、今回の結果を分析する事は今後の傾向を予想するためにも有効ではないかと考えています。

そこで今回は、平成28年度補正ものづくり補助金の結果についての分析と考察を行います。

### 【都道府県別採択数】

H28年度補正ものづくり補助金では、印刷業関連は220件が採択されていました。その中で最も区分しやすい都道府県別の採択数を見てみましょう。

図：都道府県別採択数上位

都道府県	H27年度補正1次 (昨年)	H28年度補正 (今回)	増減
東京都	48	42	-6
大阪府	21	40	+19
埼玉県	11	15	+4
京都府	8	13	+5
神奈川県	9	10	+1
愛知県	8	8	±0
福岡県	14	8	-6
北海道	5	7	+2
福島県	5	4	-1
茨城県	1	4	+3
長野県	1	4	+3
兵庫県	6	4	-2

今回も採択数は東京都が最も多かったです。これは事業所数の多さから考えると当然の結果と考えられます。一方で大阪府の採択数が東京都に迫る40件と相当数増加させています。驚きの結果となっています。

なお、昨年は熊本地震に対する救済措置があったため採択数が多かった九州地区の採択数は、福岡県が8件（6件減）や熊本県が2件（3件減）といずれも減少しています。印刷業だけの採択では分かりませんが、ある程度都道府県で採択のバランスを取っているのではないかと考えられます。

それでは次に、印刷業関連でどのような設備が採択されているのかという点について見てみましょう。

### 【設備別採択数】

近年は事業計画名において明確に設備の種類を記載しないケースも多いため、事業計画名からだけで

は導入する設備を類推する事は困難となっていますが可能な限り推定を行いました。なお、今回行った設備区分の内容は以下の通りです。

参考：設備区分について

区分名	含まれる設備
後加工	製本機、折り機、表面加工機、レーザーカッター、ミシン、グルアなど
POD・IJ	POD機、UV-IJプリンター、広幅IJプリンター、ラベルプリンターなど
印刷周辺機器	検査装置、インキ調合機、UV乾燥装置など
ITその他	AR、アプリ開発、管理システムなど
CTP・製版	CTP、ワークフローシステムなど
印刷機	オフセット印刷機、その他印刷機など
不明	事業計画名からは類推困難なもの

上記分類で今回の採択数 220 件を当方なりに区分してみました。

図：採択数における設備区分

設備区分	件数	比率
後加工	61	28%
POD・IJ	50	23%
不明	44	20%
印刷周辺機器	25	11%
ITその他	21	10%
CTP・製版	13	6%
印刷機	6	3%
合計	220	

この数年の傾向と同じく、後加工機の導入が多くなっています。これはやはり製品の最終形態が示しやすいため、「ものづくり区分」でも「革新的サービス区分」でも採択員にイメージ・理解されやすいことが一番の理由と考えられます。

また近年では印刷業界でもシステムやアプリ開発などの案件で申請を上げる事案も増加してきています。実際に当方が支援した案件でも該当するものが複数ありました。それらをここでは「ITその他」と区分していますが、他にも「不明」に分類した案件でもITを使ったサービスと類推されるものもいくつかあり、今後は印刷業界内の申請でも多くなってゆくと考えられます。

それでは最後に当該ものづくり補助金の特徴でもある申請事業者の支援を行う認定支援機関について見てみましょう。

## 【認定支援機関別採択数】

認定支援機関は言葉通り申請者の支援を行う機関であり、当方のようなコンサル機関の他、金融機関や各地産業振興公社・商工会・商工会議所などの公的機関がその役割を担う事が多いです。

今回採択のあった 220 件のうち採択数が多い認定支援機関を抽出したのが以下の表です。

図：印刷業で採択の多い認定支援機関

認定支援機関名	採択数	区分	エリア
(株)GIMS	23	民間	全国
商工中金	11	金融機関	全国
京都中央信金	5	金融機関	京都府
巣鴨信金	5	金融機関	東京都
大阪シティ信金	5	金融機関	大阪府
北洋銀行	5	金融機関	北海道
りそな銀行	4	金融機関	全国
観音寺信金	4	金融機関	愛媛県
京都銀行	4	金融機関	京都府
東京東信金	4	金融機関	東京都
名古屋銀行	4	金融機関	愛知県

当方が運営している(株)GIMSは印刷業界の申請支援に特化しているため、この結果は面目躍如といったところであろうかと思っています。

また少々手前味噌な話になりますが、今後はこういった申請支援等においては更にそれぞれの業界の専門性が求められることになると考えています。もちろん他業界ではそれぞれの専門性を有した支援機関が存在しています。当方としては繰り返しになるが印刷業界に特化した支援を行っています。今後もより精進して業界に貢献できるように励みたいと考えています。